

平成 21 年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成 21 年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 22 年 7 月 15 日(木)に西条 HAKUWA ホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 12 名、委託関係者 35 名ほか、計 58 名の参集を得て、除草剤 29 薬剤(222 点)、生

育調節剤 2 薬剤(9 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 21 年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量 g・mL<水量 L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 △が-は新たに判定された内容を示す
1. AEH-002 顆粒水和 ヨート® スルフロメチルナトリウム 塩 10% [ハ® イェルクロップ® サイエンス]	コウライシ ハ®	適用性 継続	泉パ®-クワンGC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生広葉、多年生広葉] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.015, 0.2, 0.25g <200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	実 ・継	実) [秋冬作; (コウライシハ®, /シハ®) 一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、 雑草発生前~発生初期 ・0.015~0.025g <200~300mL>/m ² ・土壌処理 継)
	/シハ®	適用性 継続	泉パ®-クワンGC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生広葉、多年生広葉] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.015, 0.2, 0.25g <200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任		・多年生広葉雑草の草種と効果に ついて(コウライシハ®, /シハ®) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®) ・連用試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®) ・実証試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®)
2. AKD-7164 水和 シアジソン 50% [アケ® カネショリ]	コウライシ ハ®	適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(ヨコグサ除く)] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 ・0.05, 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	実 ・継	実) [秋冬作; (コウライシハ®, /シハ®) 一年生 雑草] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 ・0.1~0.2g<200~300mL>/m ² ・土壌処理 注 1) ・高薬量では一時的に葉身に白化 や黄化などの薬害を生じる場 合がある 注 2) ・「芝生育期(生育休止期)」とは、 茎葉の一部に緑色が残ってい ても、生育の停滞している時期 を指す 継)
	/シハ®	適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(ヨコグサ除く)] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 ・0.05, 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任		・倍量薬害試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®) ・連用試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®) ・実証試験での確認 (コウライシハ®, /シハ®)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 △が-は新たに判定された内容を示す
3. AKD-7175粒 DBN 1.2%, シアジソン 3% [アノロカネヨリ]	コウライシ ハ*	適用性 新規	泉ハークカンGC 植調研究所 植調埼玉 新中国G研 (4)	[スキナ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 8, 10, 12g/m ² ・ 土壌処理 対) 一任	実 ・ 継	実) [秋冬作: (コウライシハ*) 一年生雑草、 多年生広葉雑草、スキナ] ・ 芝生育期、 雑草発生前～発生初期 ・ 8～12g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 効果、被害の確認(ノシハ*) ・ スキナに対する効果について年次 変動の確認(コウライシハ*) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ*, ノシハ*) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ*, ノシハ*) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ*, ノシハ*)
	ノシハ*	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 8, 10, 12g/m ² ・ 土壌処理 対) 一任		
	ノシハ*	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 8, 10, 12g/m ² ・ 土壌処理 対) 一任		
4. BAH-0902マイクロカフ セル ヘンテ* イメタリン 45% (w/v) [BASFシ*ヤハ*ン]	コウライシ ハ*	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クエイアックフロアブル 0.5g<200-300>/m ²	継	継) ・ 効果、被害の確認 (コウライシハ*, ノシハ*, ハーミューダ*グラス)
	ノシハ*	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クア*ロック水和 0.12g<250-300>/m ²		
	ハーミュー ダ*グラス	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クア*ロック水和 0.12g<250-300>/m ²		
	コウライシ ハ*	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 門司GC (3)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クア*ロック水和 0.12g<250-300>/m ²		
	ノシハ*	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 門司GC (3)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クア*ロック水和 0.12g<250-300>/m ²		
	ハーミュー ダ*グラス	適用性 新規	静岡G場協会 新中国G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300>/m ² ・ 土壌処理 対) クア*ロック水和 0.12g<250-300>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 7/10-ラインは新たに判定された内容を示す
5. BEH-5077プロアフル インダシアラ 20% [ハ・エクロップサイエンス]	コウライシ ハ	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.03mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 ・展着剤不要	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作;(コウライシハ、ノシハ)一年生 雑草] ・芝生育期、 雑草発生前 ・0.02~0.03mL <200~300mL>/m ² ・土壌処理 (継) ・実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・効果の確認された草種 メヒシハ、ウラシ、ロチコグサ、ヒメムカシヨ キ、コシキソリ、ヤハス、ソウ、タラサ、トネソ ウ、ツメタ、イヌタテ、ハギタメキ
	ノシハ	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.03mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 ・展着剤不要		
6. BS-2粒 ベンテメタリン 1.1%、 N:P:K=10:5:5 [エス・ティ・エス ハ イオテッ ク]	コウライシ ハ	適用性 新規	グランド・イ那須GC 東日本G研 植調研究所 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (7)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・20, 30, 40g/m ² ・土壌処理 対) テマックス 30g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作;(コウライシハ)一年生雑 草(キ科を除く)] ・芝生育期、 雑草発生前 ・20~40g/m ² ・土壌処理 (継) ・年次変動の確認(コウライシハ) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・連用試験での確認(コウライシハ) ・実証試験での確認(コウライシハ)
7. DAH-07127プロアフル プロビザミト 36% [タ・ウ・ケミカル日本]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 (3)	[一年生雑草(キ科除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.375, 0.5, 0.625mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 ・展着剤不要 対) カブ 水和 0.4g<200-300mL>/m ²	実・ 継	実) [秋冬作;(コウライシハ、ノシハ)一 年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.375~0.625mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 (継) ・連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 継続	グランド・イ那須GC 東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草(キ科除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.375, 0.5, 0.625mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 ・展着剤不要 対) カブ 水和 0.4g<200-300mL>/m ²		
8. DAH-0808EW ジチオビル 24% [タ・ウ・ケミカル日本]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 (2)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.2, 0.3mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 ・展着剤不要 対) ティクトラン乳 0.15mL<200-300mL>/m ²	実・ 継	実) [秋冬作;(コウライシハ、ノシハ)一年生 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.1~0.3mL<200~300mL>/m ² ・土壌処理 [秋冬作;(ケンタッキー・ルーグ・ラス)一年 生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.1~0.2mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 (継) ・年次変動の確認 (ノシハ、ケンタッキー・ルーグ・ラス) ・連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキー・ルーグ・ラ ス) ・実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキー・ルーグ・ラ ス) ・効果の確認された草種 スズメノカタビラ、オオイヌノフグ、リ、タネツクハ ナ、オランダミミナグサ、ツメタ、ヒメオト、リコ ウ、ホトノギ、ハコグサ

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 7a) 7b) は新たに判定された内容を示す
9. DH-024顆粒水和 7a) ホンネ 50% [日本曹達]	ハーフミュー タグラス	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 浜松シイタGC 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g <200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ウェイマープフロアブル 0.6g<200~300mL>/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コライシハ、ノシハ、ハーフミュー タグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.15~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (ハーフミュータグラス) ・ 実証試験での確認 (コライシハ、ノシハ、ハーフミュータグラ ス)
	ハーフミュー タグラス	作用性 新規	埼玉スタジアム2002 浜松シイタGC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3g<200mL>/m ² 0.6g<400mL>/m ² 1.2g<800mL>/m ² ・ 土壌処理		
10. GG-155顆粒水和 イマゾスルホン 75% [日本グリーンアントカー デン]	コライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g <200~300>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) イソバ-RDF 0.03g<200~300>/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g <200~300>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) イソバ-RDF 0.03g<200~300>/m ²		
11. GG-182粒 シアジン 1%、 メコプロップPカリウム塩 1% [日本グリーンアントカー デン]	コライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-R粒15g/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 30~40g/m ² ・ 土壌処理 継) [秋冬作; (コライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 20~40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシハ) ・ 連用試験での確認(コライシハ) ・ 実証試験での確認(コライシハ)
12. GG-191粒 トリアシフラム 0.1%、 DBN 0.5%、 N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本グリーンアントカー デン]	コライシ ハ	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) テマックス粒30g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 20~40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 発生初期処理での効果、薬害の 確認(コライシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシハ) ・ 連用試験での確認(コライシハ) ・ 実証試験での確認(コライシハ)
	コライシ ハ	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-R粒15g/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 7/24-ラインは新たに判定された内容を示す
I3. GG-205 (旧HW-T62)水和 DCBN 50% [日本クレーンアント・カー デン]	コウライシ ハ	適用性 継続	泉パークタウNG 東日本G研 太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (5)	[ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス] ・ 芝生育期(生育休止期) 雑草生育期 ・ 1.0, 1.5, 2.0g <200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) タフラー乳1.2mL<300mL>/m ²	実 ・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～発生前初期(3葉期 まで) ・ 0.5～1.0g<150～200mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 薬害要因の解明 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認(ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 継続	泉パークタウNG 東日本G研 太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (5)	[ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス] ・ 芝生育期(生育休止期) 雑草生育期 ・ 1.0, 1.5, 2.0g <200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) タフラー乳1.2mL<300mL>/m ²		
	コウライシ ハ	作用性 継続	東日本G研 関西G研 (2)	[高薬量薬害] ・ 芝生育期(生育休止期) ・ 2.0g<200mL>/m ² ・ 3.0g<300mL>/m ² ・ 4.0g<400mL>/m ² ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 継続	東日本G研 関西G研 (2)	[高薬量薬害] ・ 芝生育期(生育休止期) ・ 2.0g<200mL>/m ² ・ 3.0g<300mL>/m ² ・ 4.0g<400mL>/m ² ・ 土壌処理		
I4. HPW-10370アフル オリザリン 15% [保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 門司GC (4)	[スズメノカタビラ、一年生広葉雑草(キ 科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.8mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サーフラン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.5～0.8mL<200～300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 0.5mL/m ² での年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 門司GC (4)	[スズメノカタビラ、一年生広葉雑草(キ 科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.8mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サーフラン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アグライは新たに判定された内容を示す
15. KUH-062H 顆粒水和 ピロキサメロン 85% [クマイ化学工業, 理研グリーン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任	継	継) ・ 効果、薬害の確認(コウライ、ノシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 (スズメノカタビラ3Lまで) ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) アージラン液 0.6mL<200-300mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任		
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 (スズメノカタビラ3Lまで) ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) アージラン液 0.6mL<200-300mL>/m ²		
16. KUH-079顆粒水和 ピリメスルファン 50% [クマイ化学工業, 理研グリーン]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	東日本G研 宇都宮大学 (2)	[一年生広葉、多年生広葉雑草(チ トメグサ・オオハコ等)] ・ 芝生育期 雑草発初期 ・ 0.03, 0.04, 0.06g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) フードスマッシュSC 0.03mL<150-200mL>/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 ・ 0.03~0.04g <水量100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・ 0.02g/m ² での効果の確認 (コウライシハ) ・ 倍量薬害での確認(コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
17. LNS-001顆粒水和 フルゼスルファン 50% [エス・デー・イー・エス・ハ・イオテッ ク]	ヘントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生広葉、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 ・ 0.03, 0.045, 0.06, 0.075g <200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) アグリン水和剤 0.3g/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 ・ 0.03~0.06g<100~200mL> ・ 茎葉処理 継) ・ 効果、薬害の確認(ヘントグラス) ・ 多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験の継続 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ヘントグ ラス	適用性 新規	泉パークランドGC 太平洋C美野里C 関西G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発初期 ・ 0.03, 0.045, 0.06, g <200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) アグリン水和剤 0.3g/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 アノターラインは新たに判定された内容を示す
18. MAH-080270アフル ベンデイメタリン 35% [マテシム・アカン・ジ・ヤハ ン]	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.35, 0.5, 0.65, 0.8mL <200mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	実 ・継	実) [秋冬作; (コウライシバ) 一年生雑草(キ 科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.5~0.8mL<200mL>/m ² ・土壌処理
	コウライシ ハ	適用性 継続	泉ハークタリGC 植調研究所 関西G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.5, 0.65, 0.8mL <200mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	継	継) ・効果、薬害の確認(ノシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ)
	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.5, 0.65, 0.8mL<200mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任		
19. MBH-021液 新規化合物 21.2% [丸和バ イケミカル]	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.01, 0.02, 0.03, 0.04mL <200-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) MCP液 0.5mL<200>/m ²	継	継) ・効果、薬害の確認(コウライシバ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 西日本G研 (3)	[一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.015, 0.02, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) MCP液 0.5mL<200>/m ²		
20. NP-6470アフル ベントキサジン 20% [日本曹達]	ヘントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[コガ類] ・芝生育期 コガ類生育期 2-3月に1回処理 ・0.5, 0.75, 1mL <100-200mL>/m ² ・茎葉処理 対) タスク水和 0.045g<100-200>/m ²	実 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (ヘントグラス) コガ類] ・芝生育期、コガ類生育期 ・0.5~1mL<100-200mL>/m ² ・茎葉処理
21. RGH-0601粒 ベンデイメタリン 0.86%、 N:P:K=24:4.5:8 [理研グリーン]	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草(キ科除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・15, 20, 25g/m ² ・土壌処理 対) テナックス粒剤 15g/m ²	実 ・継	実) [秋冬作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生 雑草(キ科除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・20~25g/m ² ・土壌処理 [秋冬作; (ケンタッキーブルーグ ラス) 一 年生雑草(キ科除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・15~25g/m ² ・土壌処理 継) ・倍量薬害試験での確認 (ケンタッキーブルーグ ラス) ・連用試験での確認(コウライシバ、ノ シバ、ケンタッキーブルーグ ラス) ・実証試験での確認(コウライシバ、ノ シバ、ケンタッキーブルーグ ラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 △が△は新たに判定された内容を示す
22. SB-201乳 メチオリン 25% [エス・ティ・イー・エス パイオテック] [エス・ティ・イー・エス パイオテック]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[スズメノカタビラ、一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2→0.2mL(2回), 0.3, 0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティクトン乳 0.15mL<200mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (ベントグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3→0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 効果・薬害の確認(コウライシハ) ・ 0.2mL/m ² 2回処理での効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ 雑草発生前処理での効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ 連用試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 継続	泉バーカウGC 東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2→0.2mL(2回), 0.3, 0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) マツタリ 1mL<200mL>/m ²		
	ベントグ ラス	適用性 新規	帯広CC 東日本G研 新中国G研 (3)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2→0.2mL(2回), 0.3, 0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理		
	ベントグ ラス	作用性 新規	帯広CC 東日本G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4→0.4mL<各200mL>(2回), 0.4mL<200mL>/m ² , 0.8mL<400mL>/m ² , 1.6mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理		
23. SYJ-111乳 S-メトクロール 83.7% [ソシエンタ シェパソン] [ソシエンタ シェパソン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティクトン乳 0.7mL<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ)一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.25→0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (バーミュータグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、バーミュータグラス) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、バーミュータグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、バーミュータグラス)
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティクトン乳 0.7mL<200-300mL>/m ²		
	バーミュー タグラス	適用性 新規	東日本G研 埼玉サシア2002 関西G研 新中国G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティクトン乳 0.7mL<200-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300>/m ² ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300>/m ² ・ 土壌処理		
	バーミュー タグラス	作用性 継続	浜松シサイトGC 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300>/m ² ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 7/24-ラインは新たに判定された内容を示す
24. SYJ-19470アプロ アロシジン 40.7% [シンジエンタ ジャパン]	ベントグ ラス	適用性 新規	泉パークタウンGC グランドイ那須GC 東日本G研 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (6)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 対) グラフロック水和 0.12g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ、ハーマー グラス) 一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.14-0.26mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	帯広CC 泉パークタウンGC グランドイ那須GC 東日本G研 埼玉スタジアム2002 新中国G研 (6)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 対) グラフロック水和 0.12g<200-300mL>/m ²		[秋冬作; (ベントグラス、ケンタッキーブルー グラス) 一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.18-0.26mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理
	ハーマー グラス	適用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.14, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 対) グラフロック水和 0.12g<200-300mL>/m ²		注) ・ベントグリーンでは使用しない
	コウライシ ハ	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300>/m ² ・土壌処理		継) ・低薬量(0.1mL/m ²)での効果の確 認(ベントグラス、ケンタッキーブルーグ ラス) ・年次変動の確認 (ベントグラス、ケンタッキーブルーグ ラス、ハーマーグラス) ・倍量薬害試験での確認(コウライ シハ、ノシハ、ベントグラス、ケンタッキー ブルーグラス、ハーマーグラス) ・連用試験での確認(コウライシハ、ノ シハ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグ ラス、ハーマーグラス) ・実証試験での確認(コウライシハ、ノ シハ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグ ラス、ハーマーグラス)
	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 継続	グランドイ那須GC 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300>/m ² ・土壌処理		
	ハーマー グラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300>/m ² ・土壌処理		
25. SYJ-22570アプロ 既知化合物 60%、 新規化合物 5% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草、ワシノチコグサ] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生前初期 ・0.04, 0.06, 0.08, 0.1mL <150-250mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 対) モニメントWG 0.003g<150-250mL>/m ²	継	継) ・効果、薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草、ワシノチコグサ] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生前初期 ・0.04, 0.06, 0.08, 0.1mL <150-250mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 対) モニメントWG 0.003g<150-250mL>/m ²		
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 (4)	[一年生雑草、ワシノチコグサ] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生前初期 ・0.06, 0.08, 0.1mL <150-250mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 対) モニメントWG 0.003g<150-250mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 (4)	[一年生雑草、ワシノチコグサ] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生前初期 ・0.06, 0.08, 0.1mL <150-250mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 対) モニメントWG 0.003g<150-250mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量: g・mL＜水量L＞/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 7/24-7/25は新たに判定された内容を示す
26. SYJ-229液 アシュラム 30%、 MDBAカリウム塩 3% [シンジエンタ シヤパン 保土谷UPL]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 関西G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育初期 ・ 0.3, 0.45, 0.6, 0.75mL ＜150-300mL＞/m ² ・ 茎葉処理 対) アーザン液剤 0.5mL＜200mL＞/m ²	継	(継) ・ 効果、薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 関西G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育初期 ・ 0.3, 0.45, 0.6, 0.75mL ＜150-300mL＞/m ² ・ 茎葉処理 対) アーザン液剤 0.5mL＜200mL＞/m ²		
	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ベークタウGC 東日本G研 サントリス CC 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育初期 (スズメノカタビ 3葉期まで) ・ 0.45, 0.6, 0.75mL ＜150-300mL＞/m ² ・ 茎葉処理 対) アーザン液剤 0.5mL＜200～300mL＞/m ²		
	ノシハ	適用性 新規	泉ベークタウGC 東日本G研 サントリス CC 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育初期 (スズメノカタビ 3葉期まで) ・ 0.45, 0.6, 0.75mL ＜150-300mL＞/m ² ・ 茎葉処理 対) アーザン液剤 0.5mL＜200～300mL＞/m ²		
27. TH-913H4707ア ^ル イマツ ^{スル} フロン 40% [日本グリーンアント ^カ ー テン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 一年生雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL ＜200～300＞/m ² ・ 土壌処理 対) インプ ^ー MDF 0.03g＜200～300＞/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	(実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキー ブルーグラス) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 (3葉期まで) ・ 0.1～0.2mL＜200～300mL＞/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作; (ベントグラス) 一年生広葉 雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 (3葉期まで) ・ 0.1～0.15mL＜200～300mL＞/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作; (コウライシハ) 多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生前 (3葉期まで) ・ 0.2mL＜200～300mL＞/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 一年生雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL ＜200～300＞/m ² ・ 土壌処理 対) インプ ^ー MDF 0.03g＜200～300＞/m ²		(継) ・ 発生前処理での効果、薬害の確 認(コウライシハ、ノシハ) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグラス、ケ ンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグラス、ケ ンタッキーブルーグラス)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. BES-004液 エテホン 21% [ハ ^o イエルクロップ サイエンス]	ヘ ^o ントク ^o ラス	適用性 継続	帯広CC 泉ハ ^o -クダシGC 東日本G研 浜松シ ^o サイト ^o GC 関西G研 新中国G研 (6)	[ス ^o メノカビ ^o ラ出穂抑制] ・芝生育期 ス ^o メノカビ ^o ラ出穂前 ・1mL→1mL→1mL /m ² (3回処理) 1.5mL→1.5mL→1.5mL/m ² (3回処理) ・散布水量 100-200mL/m ² ・1ヶ月間隔で処理を行う ・茎葉処理	実 ・ 継	実) [(ヘ ^o ントク ^o ラス)ス ^o メノカビ ^o ラ出穂抑 制] ・芝生育期 ス ^o メノカビ ^o ラ出穂前から3回処理 ・1.0~1.5mL<100~200mL>/m ² (散布間隔 1ヶ月程度) ・茎葉処理 注) ・出穂を完全に抑える作用は弱い が、処理を重ねるにつれ、ス ^o メ ノカビ ^o ラの出穂数が徐々に減少す る 継) ・倍量薬害試験での確認 (ヘ ^o ントク ^o ラス) ・実証試験での確認(ヘ ^o ントク ^o ラス)
2. SB-201乳 メチゾ ^o リン 25% [エス・テ ^o イー・エス ハ ^o イオテッ ク]	ヘ ^o ントク ^o ラス	作用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[ス ^o メノカビ ^o ラ出穂抑制] ・芝生育期 ス ^o メノカビ ^o ラ生育期 ①1回処理区(2月上~下旬) 0.2, 0.4mL<100-200mL> ②2回処理区(*2月→3月) 0.2→0.2mL<100-200mL>, 0.4→0.4mL<100-200mL> *散布間隔は1ヶ月を目安とす る ・茎葉処理	—	・作用性